

地域人材ネット

〈まちの人×ヨソの人〉+〈行政×民間〉
違いを超えて尊重し合う
「共感とケアのコミュニケーション」で地域を活性化

佐藤 幸俊

(さとう ゆきとし)

行政協働研究所 代表 官民協働コーディネーター



○ 登録者情報

所在地

埼玉県東松山市

略歴

1965年 生まれ

1988年 フジサンケイグループ サンケイリビング新聞社 入社

編集、営業およびイベント等、15年以上にわたり、地域活性・情報発信に関する実務経験を積む

2005年 行政協働事業部

日本初の官民協働方式による広報誌の制作・発行を契機に、広報・地域創生分野における協働事業を全国各地で展開。100案件を超える企画・運営を担う

くらしHOW研究所 地方創生研究室長を兼任

民間の知見を活かし、自治体職員の業務に役立つセミナー・研修を多数実施

2019年から現在

行政協働研究所を設立

自治体の委員やアドバイザー、研修講師、またシティプロモーションアワード実行委員等を務めるとともに実地の地域活性に関わる事業の企画・実施を行っています。

著書・論文等

■行政協働研究 ケース・ファイル

「東京のシティプロモーション“足立区流” イメージアップがまちを変えた」

「スポーツで表現するシティプロモーション … 久喜市のケース」

「災害時ペットといっしょの避難が可能に … 柏市のケース」

「シティプロモーションと“言わない”シティプロモーション … 新潟市のケース」

「“攻めた”取り組みが、なぜ出来るのか … 板橋区のケース」

「コロナ禍 自治体の闘い … 那須塩原市のケース」

◆コンテンツ各種

「自治体職員のためのセールス営業術」

「愛されるシティセールス事始め ～ “私のしごと、で市民をしあわせに”」 ● 担当「じゃない」職員向け研修

「私も大丈夫！ やさしいプレゼン実習講座 実践的プレゼンテーションの基礎」 ● 住民向けワークショップ

(業務に活かす シリーズ)

「業務に活かすシティプロモーション 情報＋発信 2つの側面を理解・活用」 ● 担当職員向け研修

「業務に活かすシティセールス研修 目指せ！ 一流のシティ“セールスマン”」 ● 全庁職員向け研修

* 防災広報セミナー

〈ふだん→まさか〉に備える地域との繋がり方を考える～進化する災害に、地域一丸となって立ち向かうためいまでできること

〈まちの人×ヨソの人〉＋〈行政×民間〉

○ 違いを超えて尊重し合う

「共感とケアのコミュニケーション」で地域を活性化

取組の内容

＜地域活性の第一段階・インフラ整備としての人材育成・職員研修。第二段階・実地の事業組成＝ビジネス構築＞
両面からの支援を行っています

■地域活性の“インフラ整備”

[職員研修][住民ワークショップ]

地域ごとの課題とニーズに応じるさまざまな種類の研修・セミナー、ワークショップを「職員向け」「市民向け」に実施

* 実施実績は下欄に

■地域活性の“実践”

“地域活性3重苦、〈知名度・魅力度・参画度〉が低い ● 新たな魅力創出による地域振興(産業、観光、文化)

[コトづくり] 音楽フェス「麦ノ秋音楽祭」の企画・プロデュース

ローカルレベルではなく、いずれも国内トップクラスのアーティスト・制作会社・デザイナーらによる本格的音楽フェス

埼玉県真ん中・東松山から発信する、新たなカルチャー＆ライブ「音楽・ビール・キャンプ」×土地の魅力

自治体、観光協会、鉄道、放送局、大学、地元事業者ら多数のプレイヤーを巻き込みつつ民主導で自走

[モノづくり] 特産品メニュー「HIKIサンド」の開発

山岳地帯と平野部、都市と田園。特性の異なる9つの自治体から成る比企地域の産品を活用した新メニュー

数回のワークショップを積み重ねる中で参加者が気づいた地域の魅力を「比企らしさ」としてメニューに反映

地元のベーカリー、カフェ、生産者、他地域からの参加者などのコラボレーションで開発とその実装を実現

□その他、地域活性・情報発信・シティセールス等に関わるアドバイザー

相談⇄助言、自治体間コーディネーター、大学・メディア・クリエイター・金融機関・産業界など多彩なネットワーク紹介



麦ノ秋音楽祭 フライ



さいたま市 職員研修の様子

実績

- 職員研修、セミナー実施（のべ500自治体、約1,000名）
 - 「福井県職員研修 目指せ閲読率100%！魅力的で読まれる広報誌の制作」
 - 「愛媛県 東温市職員スキルアップ講座」
 - 「移住定住促進に関する関西圏向け情報発信に関する懇談会」(大阪)
 - 「千葉県 平成29年度市町村移住・定住担当者研修会」
 - 「埼玉県県央地域振興センター・子育て世代向けの情報発信に関する研修会」
 - 「愛媛県 新居浜市職員研修」
 - 「ふるさと回帰支援センター第442回ふるさと暮らしセミナー」
 - 「HIKIつける魅力再発見プロジェクト」(埼玉県)
 - 「効果的なく情報発信と官民協働)について考える」(兵庫県)
 - 「令和元年度 上尾市シティセールス研修」
 - 「令和2年度<担当者ではない職員向け>上尾市シティセールス研修」
 - 「防災広報オンラインセミナー 令和2,3年」(関東・近畿・九州15自治体)
 - 「さいたま市 シティセールスワークショップ研修」令和4~5年
 - 「埼玉県 スーパー健康長寿サポーターフォローアップ講習」令和4~5年
 - 「群馬県 令和5年度前橋市シティプロモーション研修」

■ 実施事業(抄)

- 麦ノ秋音楽祭(むぎのとき おんがくさい)
- 川越比企地域振興センター東松山事務所「HIKIつける魅力再発見プロジェクト事業」
- 埼玉県東松山市「東松山市市民参画による動画CMプロモーション業務」
- 大阪府豊能町シティプロモーションプラン策定支援業務
- 茨城県TX沿線移住促進事業(県外向けPR)業務
- 栃木県那須塩原市シティセールス業務
- 愛媛県松山市シティプロモーション用フリーペーパー制作事業
- その他多数

工夫した点や苦勞した点

自治体が従来通りの<不足の解消>業務ではなく、地域活性やシティセールスといった<充足の達成>事業に取り組むとき、どこの自治体でも「職員の意識醸成」が常に課題として挙げられます。

私たちは皆「学ぼう」とするのですが、自分では当たり前だと思っている固定観念、暗黙の利害や不合理な感情は誰にでもあり、考えを変えるというのはなかなか難しいものです。

研修でも事業実施においても、「教える」というスタンスではなく、自ら「気づき」を得るために寄り添い力を貸す一介助・介護のように一ヘルパーであらうと心がけています。

ひとことPR

〈まちの人×ヨソの人〉〈行政×民間〉、世代やジェンダーといった立場や考え方の違いを乗り越えて、「多様で持続可能な地域活性」を実現するために、「圧」ではなく《共感》のコミュニケーションを構築することにより、地域内におけるイノベーションの可能性を高め、地域課題への対応策を生み出す《ケア》をしていきます。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	○ 商店街活性化
○ 地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	○ その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	○ DMOとの連携
地区防災計画	○ インバウンド対応
BCP	民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
○ その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	ふるさと教育
子どもの貧困対策	地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
○ その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
○ 官民連携(PPP・PFI)	○ メディア活用策
○ 自治体間連携	○ 効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
EBPMに基づく政策立案	
その他	

関連ホームページ

行政協働研究所ホームページ	https://www.ppcollab-lab.jp/

連絡先

メールアドレス	info [アットマーク] ppcollab-lab.jp		
---------	-------------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。